

「日本経済再生に向けた緊急経済対策」進捗管理シート(文部科学省)

対策の柱立て(大区分)	Ⅱ. 成長による富の創出	担当部局	研究振興局
対策の柱立て(中区分)	1. 民間投資の喚起による成長力強化		
対策の柱立て(小区分①)	(2) 研究開発、イノベーション推進	担当課	研究振興戦略官付
対策の柱立て(小区分②)	②医療関連イノベーションの促進		

対策における施策の名称 その他

(事業名)	放射線医学総合研究所における重粒子線がん治療技術の高度化及び施設等整備	新規/既存	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 既存
-------	-------------------------------------	-------	--

平成24年度補正予算額	27億円	一般会計/特別会計 (特会の場合には名称も記載)	一般会計
-------------	------	-----------------------------	------

事業の内容
(予算については、予算の使途及び予算を交付等する対象者を明記)

重粒子線がん治療については、これまで放射線医学総合研究所(放医研)を中心として民間企業と共同で研究開発を推進してきており、日本が世界を圧倒的にリード(世界の治療数の8割を日本が占める)している状況にある。しかし、同装置の普及を加速するためには装置の小型化やより高度な治療技術の実現が必要である一方で、米国が本技術開発を開始するなど、日本の優位性が脅かされる状況にある。
このため、世界初の技術である「超伝導小型炭素線回転ガントリー」について開発・整備を加速し、我が国の重粒子線がん治療分野での国際競争力を確立する。
また、放医研は昭和32年の開所以来50年以上が経過し、上記のような研究開発の促進に必要な施設等の老朽化が著しいため、これらを更新することで、放医研の研究開発機能を維持・向上させる。

実施方法

直接実施 委託・請負 補助金 負担金 交付金 貸付金 その他()

アウトプット指標(進捗指標)

(アウトプット指標による目標)

- 平成25年2月末時点での交付決定済額27億円
- 平成25年6月末時点での契約額27億円

アウトカム指標(効果指標)

(アウトカム指標による目標)

平成25年度末までに超伝導小型炭素線回転ガントリー一式(超伝導電磁石、治療台)の整備及び、重粒子線がん治療関連研究設備の更新を行うとともに、重粒子線がん治療分野の研究活動等を推進する

事業の進捗状況
予算の執行状況
(進捗実績、今後のスケジュール)

(6月1日時点)

【進捗状況】
補正予算成立後、(独)放射線医学総合研究所への交付決定を実施済み。実施機関において、民間企業等との契約手続きを4月から開始。

【今後の予定】
・平成25年度末までに事業完了。

【進捗ステップのイメージ図】

```

graph TD
    A[国] -- "交付決定(2月26日)" --> B["(独)放射線医学総合研究所"]
    B -- "契約(4月~)" --> C[民間企業等]
    
```

注) ↓ : 実施済 ↓ : 一部実施済 ⇩ : 未実施

執行早期化のために講じている工夫

事業に関するURL
(事業実施場所、補助先等)

(独立行政法人放射線医学総合研究所HP) <http://www.nirs.go.jp/index.shtml>
(契約締結情報の公表について) <http://www.nirs.go.jp/information/procurement/contract.shtml>